

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目で 120 分

## 解答形式

記述式、空所補充、選択

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) (昨年より空欄 10 減少)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

## 出題の特徴や昨年との変更点

例年、大問3題構成で、理論、無機・理論、有機の出題である。

難しい問題は少ないが、計算を伴う問題が多く、2科目 120 分では時間的な余裕はない。

## その他トピックス

大問2 (2) 「プランク試験」の語に戸惑った生徒がいたと思われる。

大問3 (1) 化合物Aの構造がはじめに与えられていることに気が付きにくい。

(1) (i) 過マンガン酸カリウムによる C=C の酸化的切断に関する知識が必要である。

(1) (ii) ピリジン環を含む化合物の構造決定が出題された。

(1) (iii) (オ) 配向性に関する知識が必要である。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1. (1)	空所補充 記述 計算 選択	理論・無機	化学基礎 化学	水酸化ナトリウム水溶液の電気分解 オストワルト法 分子の極性	易
(2)	空所補充 記述 計算	理論・無機・有機	化学	硫酸銅(II)五水和物の加熱による質量変化 硫酸銅(II)水溶液の凝固点降下 銅アンモニアレーヨン	標準
2. (1)	空所補充 記述 計算	理論	化学基礎 化学	ダイヤモンドの単位格子の原子間距離 面心立方格子の充填率 臭化セシウム結晶の密度 ステアリン酸の単分子膜	やや易
(2)	空所補充 記述 計算 選択	理論	化学基礎	COD (プランク試験あり) 滴定実験における器具の使い方	標準
3. (1)	空所補充 記述	有機	化学	C <sub>16</sub> H <sub>23</sub> NO の構造決定 (i) 芳香族化合物の構造決定、アミノ酸 (ii) ピリジン環を含むアルコール (iii) 芳香族アミド、脂肪酸	やや難
(2)	空所補充 記述 計算	有機	化学	メラミン樹脂 核酸	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

例年、理論、無機・理論、有機の大問3題構成で、理論では、気体、結晶、酸化還元、電池・電気分解、反応速度、化学平衡からの出題が多い。理論の全分野について標準的な問題演習を重ねるとともに、前述の分野については、特に重点的に学習を深めたい。有機は、やや難度の高い、思考力を要する問題がたびたび出題されるので、やや難レベルの演習問題に取り組む必要がある。また、計算が比較的煩雑なので、手際よく計算が処理できたかも合否を左右する。